

市立高等学校等の改革について（答申）【概要】

1 市立高等学校及び専門学校の現状と課題

（１）必由館高等学校

- 現状：明治 44 年開校、平成 13 年に校名変更学科改編を行い普通科普通、普通科国際コース、普通科芸術コース、普通科服飾デザインコースを設置し、特色ある教育活動を実施
部活動は文武両面で活躍
地元の私立大学を中心に約 9 割の生徒が進学
- 課題：学習意欲や学力に生徒間の差が見られ、主体的に学ぶ意欲や態度の育成が必要
市立高校と県立高校との間で人事交流がない状況

（２）千原台高等学校

- 現状：昭和 34 年開校、平成 12 年に校名変更・学科改編し、普通科に国際経済コースと健康スポーツコース、情報科に O A 会計コースと経営情報コースを設置
自転車競技部、男女陸上競技部、男女ハンドボール部などが活躍
全体の約 6 割程度の生徒が主に地元の私立大学や専門学校へ進学、50～60 名程度が就職
- 課題：後期（一般）選抜における学校全体の入試倍率が平成 30 年度入試から 2 年連続で低下
市立高校と県立高校との間で人事交流がない状況

（３）総合ビジネス専門学校

- 現状：平成 3 年に校名変更、昼間の総合ビジネス科と夜間の O A 経理科を設置し、平成 29 年にコース名及び募集定員を変更
- 課題：平成 25 年をピークに倍率が低下傾向、O A 経理科は定員の半分程度まで減少
取得する資格や授業の内容等をより魅力あるものにアップデートしていく必要

2 改革の方向性について

（１）学校の基本理念

自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、自らの人生とよりよい社会を創造する力を育てる学校

（補足）変化の激しい時代において、市立高等学校及び専門学校が共通に目指すべき方向性。新学習指導要領や OECD の報告書などを参考に、未来を担う熊本子どもたち一人ひとりが自らの人生を主体的・協働的に創造することで、社会がより豊かなものとなっていくことを期待。

（２）学校の特色

学校の基本理念を具体化するため、生徒や保護者から選ばれる魅力となる特色を 3 つの柱に整理

- ①「市立ならではの」特色のある学校
- ②探究的な学びを推進し、社会と積極的にかかわっていく学校
- ③生徒が主体的に学校づくりに参画する学校

3 市立高等学校・専門学校における人材の育成について

(1) 高等学校における人材育成の方向性及び育成する資質・能力

人材育成の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○グローバル化が進展する社会において国内外で活躍できる人材の育成 ○高度情報化社会において先端技術を活用して活躍できる人材の育成 ○地域社会を深く理解して、起業等を含め地域を活性化させることができる人材の育成 ○芸術やスポーツ等により、地域に新たな価値を生み出す人材の育成
育成する資質・能力（高校を卒業する時点で共通して育みたい能力）
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって学び続ける力 ・自己の個性や適性を生かして将来をデザインする力 ・SDGs等、社会課題について関心を持ち、自分なりに解決に取り組む力 ・人権や多様性を尊重し、様々な立場の人と協働し、必要に応じて支援する力

(2) 専門学校における人材育成の方向性及び育成する資質・能力

人材育成の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の産業をリードする人材の育成 ○高度情報化社会をリードする人材の育成
育成する資質・能力（高校で身に付けた力に加え、職業に関する専門的な力や起業に関する力の育成）
<p>（地域の産業をリードする人材）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動に関する専門的・実践的な知識 ・新たな産業を創出する発想力や企画力 <p>（高度情報化社会をリードする人材）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIやIoTといった先端技術を理解する力 ・それらを活用し、新たなビジネスや技術を生み出す力

4 市立高等学校・専門学校における必要な改革について

(1) 目指す学校像

改革の方向性を踏まえた取組事例を、高等学校及び専門学校それぞれ以下の通り整理

高等学校	「市立ならではの」特色のある学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所との密接な連携、地域産業や市施策等の理解促進 ・市立小中学校の教育の特色（ICT、外国語）を一層発展 ・多様な生徒の積極的受け入れ、個に応じた指導等の充実
	探究的な学びを推進し、社会と積極的にかかわっていく学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の大学や専門学校等と連携した学習 ・各教科・科目の授業において、生徒の探究的な学びの充実 ・学習内容や学習時間の柔軟な取扱等の教育課程の工夫
	生徒が主体的に学校づくりに参画する学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校則の策定や見直しへの生徒の参画 ・生徒による学校行事の企画・運営・検証
専門学校	「市立ならではの」特色のある学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所や地域産業との密接な連携、産業構造や経済活動の理解深化 ・市立高校との効果的な連携による系統的な教育
	探究的な学びを推進し、社会と積極的にかかわっていく学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学科・コースの特質に応じた探究的な学習機会の設定 ・インターンシップ等、体験的に学ぶ機会の拡充
	生徒が主体的に学校づくりに参画する学校	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒組織による行事企画等を奨励、自主自立の風土を醸成 ・生徒による授業評価の実施、教育方法等へ生徒の意見反映

(2) 3校の枠組み

学校の設置形態等を含めた3校の枠組みに関する事項について、以下の通り整理

項目	内容
①高校2校の在り方	少子化等による高校の整備再編は各地で行われている状況であるが、市立学校の存廃に関わる事項については、市民のニーズを踏まえて教育委員会において慎重に検討していただきたい。
②高校と専門学校の連携	AIやIoTといった先端技術の理解・活用など、専門性の高い分野について5年間の系統的な学習を行うことは有効である。
③中高一貫校の設置	グローバルな視点や探究する力の育成などの効果的な教育が期待できる。設置の形態は複数のパターンがあるが、設置するかどうかも含め、市民のニーズを詳細に分析し、適切に判断していただきたい。
④通信制課程の設置	通信制課程については、近年、多様な入学動機や学習歴を持つ人の学習機会としての役割が大きくなっている。設置を検討する場合には、市が新たに設置する必要性、他の学校との競合による影響など、多角的な視点からの検討と、より詳細なニーズの把握を行っていただきたい。

(3) 学科・コース

アンケート結果、ワークショップ意見等、市民のニーズを踏まえ、前述した人材育成及び資質・能力の育成の実現を図るため、高等学校及び専門学校における学科・コースについて以下の通り例示
※すべての学科において探究を中心に据えた教育を推進

※様々な探究的なカリキュラムにおいて、生徒は各学科・コースを横断可

	学科・コース	教育内容や育成する力
高等学校	○「グローバル社会において活躍できる人材の育成」に向けた、 国際教育に関する専門学科	外国人教師を配置するなどし、実践的な英会話や対話型の学習を通じ、外国語によるコミュニケーション能力などを育成
	○「高度情報化社会において活躍できる人材の育成」に向けた、 情報教育に関する専門学科	大学や企業と連携した専門的・実践的な学びを通じ、情報通信技術やプログラミングに関する知識などを育成
	○「地域を活性化させる人材の育成」に向け、 商業や観光に関する専門学科	地域理解や地域課題の解決に向け、市役所等と連携した探究学習を通じ、起業も含め、商業や観光に関する知識などを育成
	○「 芸術やスポーツ等 により新たな価値を生み出す人材の育成」に向けた、特技や興味関心のある分野を深く学ぶことができる 専門学科	専門分野の理論や技能について深く探究する学習を通じ、芸術やスポーツの社会における役割に関する理解や技能などを育成
	○多様な進路選択に対応する 総合的な学科	幅広く選択科目を開設し、学ぶことと将来の生き方や職業とを関連付け、学習内容を主体的に選択する力などを育成

	学科・コース	育成する力及び想定される就職先
専門 学校	○ <u>観光ビジネス</u> に関する学科	熊本の歴史や観光資源に関する知識、国内外の旅行企画能力、語学力等 (想定就職先) ホテル、交通事業者、旅行企画会社、 通訳ガイドなど
	○ <u>ファッション関連</u> のビジネスに関する学科	ファッションデザインやディスプレイに関する知識等 (想定就職先) アパレルメーカー、ファッション情報 関連会社 など
	○ <u>伝統の継承</u> に関する学科	熊本の歴史、伝統建築・伝統工芸に関する技能等 (想定就職先) 建築会社、工務店、伝統工芸工房 など
	○ <u>ITビジネス</u> に関する学科	A I ・IoT 技術の活用やプログラミングに関する知識 等 (想定就職先) 情報関連会社、一般企業、病院 など
	○ <u>ITシステム</u> に関する学科	A I 開発、IoT システム技術やネットワークの保守管 理などに関する知識等 (想定就職先) ゲーム制作会社、映像制作会社 など
	○ <u>単位制</u> 総合ビジネス科	離職者等の再就職等に向け、ビジネス関連の資格取得 のためのサポートを行い、必要な内容に応じて生徒が フレキシブルに学ぶことができる単位制の学科

(4) 改革を支える取組・条件整備

改革を実施するにあたって留意すべき事項について、次の通り整理

項目	内容
①教員の資質向上	新指導要領実施や探究の充実に向けた研修や人材の確保 等
②個に応じた教育の実現	生徒一人一人の学習ニーズに対応をするための取組の充実 (例) ICTの活用、少人数指導等の実施、不登校等生徒への支 援充実 等
③生徒・保護者等への 周知	基本方針決定後、多様な方法で速やかに丁寧な説明をすべき
④改革の効果や進捗が 検証できる仕組み	改革の効果や進捗を検証し、必要に応じて計画を修正したり取組 を追加したりするための仕組みづくりが必要 等
⑤今後検討が求められる事 項	答申に盛り込むには至らなかった意見についても、今後市教育委 員会において継続して検討してほしい(選抜の在り方、単位制の 導入 など)

今後の検討スケジュール（案）

令和2年度 基本計画策定

- 4月以降 答申を基に改革原案を作成
教育委員会と各学校及び財政局や政策局等の関係部局を含む庁内検討会議を開催
- 8月 基本計画骨子（案）完成
- 9月 9月定例会市議会にて骨子（案）説明
- 10月 基本計画素案完成
- 12月 12月定例会市議会にて素案説明
- 1月 パブリックコメント実施
- 3月 2月定例会市議会にて計画案説明

令和3年度以降

教員の人事異動、採用、研修
周知広報、選抜準備、入試実施
教育課程編成、授業方法研究 等